

図書館だより 6月号

令和7年6月2日発行
王滝村教育委員会
村民図書館
TEL:48-2134

開館日時:平日(開校日)午前8時~午後4時 6月の読書会は6月12日(木)です。

五月の読書会には、九名が参加しました。知らなかった『易经・風水』の話題は興味深いものがあり、時間を忘れてしまうほどでした。村民の方たちと意見を交わしながら和氣あいあいとした雰囲気の中で、本を媒介に話すのは素敵な時間になっています。

『易经』



著者:小椋 浩一
出版社:実業之日本社

易经は占いの書ですが、中国最古の古典でもあります。人生は選択の連続です、決断には迷いがつきものです。人々は古代から現代にいたるまで、迷った時の答えを易经の六十四卦に求めました。本書は難解な易经をわかりやすく実用的に解説しています。六十四卦すべてを網羅しているところもいいです。

「ここはどう解決するべきか」「あの時の選択は正解だったのか」その答えが本書にあるかもしれません。占いのテクニクの記述はほぼありませんが、易经の入門書としておすすめです。

(薩川)

早速『易经』を借りてきました。パラリとめくったページが「地火明夷(ちかめいゐ)」という卦でした。この卦の意味は、「今は、賢明な人が傷つき破れて日の目を見ない時。困難に耐えて真正(節操を堅く心を正しく)を守るのが良い」とあります。もう少し平たく言うと、「苦境においては、自分に自信を持ち困難に耐え、時を待て」となります。深い！ (S・N)

『易经』の紹介を頂きました。社会生活で大切なことは第一印象「家相で言えばまず玄関で、その家で暮らす人達の思いが表れていて、家の様子を一目瞭然で感じとることができる」という話には説得力があり、直ぐに実践できることとして、素直に受け止めることができました。高齢になっても、こうして自分を修正していけることの嬉しさを噛みしめています。「読書会」大好きです。(Y・K)

なかやみわ作・絵『そらまめくんのあたらしいベッド』から「かわいい」と思ったところを作品にしてみました。横書きの絵本に「か所だけ縦書きに書かれたところがあります。そらまめくんが「よいしょよいしょ」とわたの木をがんばってのぼっていくところです。色んな材料を使って表現してみました。「がんばれ」の気持ちを込めて王滝弁も加えてあります。(😊)

脇坂さん制作



書名	著者	出版社	一口コメント
いとしきもの	小川 系	文春文庫	著者が大自然の美しさに気づかされる中で、衣食住はよりシンプルに。自然との対話を楽しむ日々を綴ったフォトエッセイ。
世界99上・下	田村 紗耶香	集英社	帯より「究極の思考実験」「現代の創世神話」
コンビニ人間	田村 紗耶香	文春文庫	各国で読まれている人気の本
グリムの本棚	グリム	あかね書房	挿し絵もいっぱい、親子読書(幼児)にもおすすめ
わかったさんとおかしをつくらう	寺村 輝夫	あかね書房	お母さんたちには懐かしいシリーズの料理本。お話しも入っていて、お子さんと楽しく料理に挑戦

新刊本一部紹介

■雑誌『天然生活』『婦人公論』最新号